

広島市植物公園

見どころ案内

ハイブリッドティーローズ (現代バラ)

切り花で売られているバラの多くがハイブリッドティーローズです。四季咲きで花が大きく、茎がしっかりしています。二番花が咲き始めています。ラベルのHTの略号が目じるしです。

ハナキササゲ

(ノウゼンカズラ科)
アメリカ原産のキササゲです。

サボテン温室

ゾウコンニャク

(サトイモ科)

東南アジア、オーストラリア原産のコンニャクの仲間です。イモの形が象の足に似ているので名がついたそうです。

キンシバイ 金糸梅 (オトギリソウ科)

黄色い花が斜面をおおように咲いています。金の糸のようなおしべから名がつけましたが、同属のビヨウヤナギのおしべのほうが金の糸のイメージです。

セントポーリアとイワタバコの仲間展

6/13 (木)まで

展示温室にて開催中!!

ヤマアジサイ展

6/13 (木)まで

屋外展示場にて開催中!!

山あじさいの里

ヤマアジサイ(ユキノシタ科)は、日本の山に自生する小型のアジサイです。湿ったところを好むので、沢アジサイとも呼ばれます。クレナイは、咲き始めは白ですが、真紅に色づきます。

ハナショウブ (アヤメ科)

野生種のノハナショウブをもとに作りだされた園芸品種群です。伝統的な系統の江戸系、肥後系、伊勢系のほか、本園では、山形県に保存されていた長井古種と、松平定朝が育成したといわれる菖翁花をたくさん集めています。

森のレストラジ 休憩展望塔

ブラシノキ (フトモモ科)

びんを洗うブラシに似ているので名がつけました。山火事の多いオーストラリア原産で、山火事を耐えぬく強さを持っています。

キンギンボク (スイカズラ科)

2つずつつく実の形から別名ヒョウタンボクです。実が赤くなつて目立つようになりました。有毒です。ログハウスの前にもあります。

菩提樹 (シナノキ科)

オランダボダイジュをはじめとする数種が植えられています。どれも、花茎に羽根のような苞葉があります。インドボダイジュ(クワ科)の代用木として中国の寺に植えられ、仏教の聖木の名がつけました。葉が小さいのがシナノキで、日本原産の菩提樹の仲間です。

